

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 GMB(株)
 コード番号 7214 URL <http://www.gmb.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日
 配当支払開始予定日 ー

(氏名) 松岡 信夫
 (氏名) 阪口 有一

TEL 0745-44-1911

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	19,620	△32.3	110	△89.1	△79	—	△95	—
21年3月期第3四半期	28,986	—	1,016	—	1,031	—	581	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△18.33	—
21年3月期第3四半期	111.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	35,539	16,651	39.4	2,684.97
21年3月期	33,363	17,009	42.5	2,719.73

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 13,993百万円 21年3月期 14,174百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	17.50	—	12.50	30.00
22年3月期	—	15.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△24.3	500	△12.0	270	△55.8	50	△91.6	9.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名) 除外 1社 (社名 山東吉明美工業有限公司)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	5,212,440株	21年3月期	5,212,440株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	783株	21年3月期	733株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	5,211,687株	21年3月期第3四半期	5,211,782株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日までの9ヶ月間）における経済状況は、金融危機後の世界的な財政出動の支えによる景気の底入れに続く緩やかな回復基調ながら、本格的な自律回復に対しては引き続き不安が残る状況が続いております。自動車業界におきましても、各国の景気刺激策の効果と新興国での需要拡大により、需要が回復傾向にあります。

このような環境のなか、当社グループでは、新車用部品市場におきましては、好調な韓国完成車メーカーと回復する欧米の新車需要に牽引される形で韓国子会社を中心とした生産・販売活動が本格的に回復してきました。一方、補修用部品市場におきましては、米国におきまして大手チェーンストアとの新規取引が開始されるなど販路拡大に努めましたが、他の海外市場では十分な販売の回復に至っておりません。また、回復する需要のなかでも、縮小する過程で効率化した生産・調達体制を維持することで体質強化に努めました。

さらに、韓国ウォンの下落など在外子会社の財務諸表を円換算する際の為替変動による影響も加えた結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が19,620百万円（前年同四半期比32.3%減）、営業利益は110百万円（同89.1%減）となり、経常損失は79百万円（前年同四半期経常利益1,031百万円）、四半期純損失は95百万円（同純利益581百万円）となりました。

当社グループは単一セグメントであり、主要な品目分類別の販売状況を説明しますと、次のとおりであります。

駆動・伝達及び操縦装置部品部門は、韓国新車部品市場の需要回復によりバルブスプールなどの販売は回復しましたが、欧州向けユニバーサルジョイントの販売が減少したことなどにより、売上高は8,386百万円（前年同四半期比37.6%減）となりました。

エンジン部品部門は、米国以外の補修用市場におけるウォーターポンプの販売が本格的な回復に至らず減少するなどした結果、売上高は5,110百万円（同32.6%減）となりました。

ベアリングその他部門は、韓国子会社が生産するテンショナー・アイドラー・ベアリングの新車用・補修用部品での販売が回復してきましたが、前半の低迷もあり、売上高は6,124百万円（同23.2%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

欧州向けの新車用部品や海外補修用部品における販売の回復も見られましたが、前半の減少を補うまでは至りませんでした。また、引き続き海外調達や経費圧縮によるコスト削減に取組んだ結果、売上高6,658百万円（前年同四半期比36.7%減）、営業損失79百万円（前年同四半期営業利益757百万円）となりました。

②北米

連結子会社のGMB NORTH AMERICA INC.においては、安定した需要の継続する補修用部品市場で販売強化に努めた結果、売上高2,260百万円（前年同四半期比27.6%増）、営業損失48百万円（前年同四半期営業損失137百万円）となりました。

③アジア

連結子会社のGMB KOREA CORP.においては、好調な韓国自動車メーカーおよび系列部品メーカー向けの販売が順調に回復するとともに、欧州を中心に販路拡大に努めました。また、他の生産子会社においても生産量が回復することにより採算も改善しました。さらに円高韓国ウォン安の為替変動による円換算の影響も加味した結果、売上高10,701百万円（前年同四半期比35.9%減）、営業利益362百万円（同0.5%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は35,539百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,175百万円増加しました。純資産は16,651百万円で、自己資本比率は39.4%となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,116百万円(前年同四半期比98.6%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が238百万円(前年同四半期税金等調整前四半期純利益1,114百万円)、減価償却費が1,487百万円(前年同四半期比16.0%減)、売上債権の増加額が1,089百万円(前年同四半期は1,195百万円の減少)、仕入債務の増加額が1,512百万円(前年同四半期は1,044百万円の減少)、法人税等の還付額が27百万円(前年同四半期は862百万円の支払額)となったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,326百万円(前年同四半期比2.9%減)となりました。これは主に、設備投資による有形固定資産の取得による支出が1,716百万円(同32.3%減)、貸付による支出が255百万円(同1,562.3%増)となったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は231百万円(前年同四半期比73.1%減)となりました。これは主に、社債の発行による収入が300百万円(前年同四半期は900百万円の償還による支出)となったことや、短期・長期借入金が増加(前年同四半期比99.7%減)したことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月23日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

山東吉明美工業有限公司は、第2四半期連結会計期間において清算決議を行い、重要性がなくなったため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(追加情報)

①関係会社整理損失引当金

当第3四半期連結会計期間より関係会社の整理に係る損失に備えるため、当社グループが負担することとなる損失負担見込額を計上しております。

②訴訟損失引当金

当第3四半期連結会計期間より係争中の訴訟に係る損失に備えるため、その経過等の状況に基づく損失負担見込額を計上しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,757,989	4,602,528
受取手形及び売掛金	5,332,585	4,140,346
商品及び製品	2,802,866	1,974,252
仕掛品	3,309,079	2,973,951
原材料及び貯蔵品	1,363,737	1,477,850
未収還付法人税等	6,317	120,748
繰延税金資産	272,095	105,645
その他	679,667	618,803
貸倒引当金	△62,869	△48,082
流動資産合計	17,461,469	15,966,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,550,026	3,296,884
機械装置及び運搬具（純額）	6,612,027	6,418,326
土地	5,351,648	5,272,877
建設仮勘定	586,009	975,946
その他（純額）	326,042	382,119
有形固定資産合計	16,425,754	16,346,154
無形固定資産		
のれん	34,328	54,925
その他	211,414	197,546
無形固定資産合計	245,743	252,472
投資その他の資産		
投資有価証券	710,793	92,512
繰延税金資産	407,224	354,697
その他	331,932	373,624
貸倒引当金	△43,499	△21,534
投資その他の資産合計	1,406,450	799,300
固定資産合計	18,077,948	17,397,927
資産合計	35,539,418	33,363,971

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,344,682	2,686,484
短期借入金	4,391,295	4,077,586
1年内返済予定の長期借入金	2,616,205	2,309,867
未払法人税等	4,200	60,500
繰延税金負債	149,366	169,421
賞与引当金	61,924	149,376
製品保証引当金	154,832	157,486
関係会社整理損失引当金	81,142	—
その他	1,610,213	1,440,039
流動負債合計	13,413,863	11,050,761
固定負債		
社債	300,000	—
長期借入金	2,673,012	3,221,898
繰延税金負債	40,004	42,356
退職給付引当金	1,513,851	1,233,431
役員退職慰労引当金	236,300	233,900
訴訟損失引当金	79,253	—
負ののれん	103,894	126,157
その他	527,625	445,688
固定負債合計	5,473,941	5,303,432
負債合計	18,887,805	16,354,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	838,598	838,598
資本剰余金	988,000	988,000
利益剰余金	13,799,383	14,059,716
自己株式	△1,694	△1,662
株主資本合計	15,624,287	15,884,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,988	△14,911
為替換算調整勘定	△1,626,139	△1,695,300
評価・換算差額等合計	△1,631,128	△1,710,211
少数株主持分	2,658,453	2,835,337
純資産合計	16,651,612	17,009,777
負債純資産合計	35,539,418	33,363,971

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	28,986,448	19,620,361
売上原価	23,934,586	16,482,229
売上総利益	5,051,861	3,138,131
販売費及び一般管理費	4,035,506	3,027,338
営業利益	1,016,354	110,792
営業外収益		
受取利息	19,580	12,618
為替差益	131,415	—
受取保険金	19,871	11,137
負ののれん償却額	14,842	28,866
その他	97,088	47,954
営業外収益合計	282,798	100,577
営業外費用		
支払利息	165,032	161,431
手形売却損	76,248	46,469
為替差損	—	57,272
持分法による投資損失	—	3,041
その他	26,333	22,756
営業外費用合計	267,613	290,971
経常利益又は経常損失(△)	1,031,539	△79,601
特別利益		
固定資産売却益	23,363	5,202
貸倒引当金戻入額	90,074	—
持分変動利益	20,381	1,221
その他	6,716	—
特別利益合計	140,536	6,423
特別損失		
固定資産売却損	298	3,085
固定資産除却損	35,478	3,147
投資有価証券評価損	—	1,482
役員退職慰労金	22,000	1,600
関係会社整理損失引当金繰入額	—	80,386
訴訟損失引当金繰入額	—	75,306
特別損失合計	57,776	165,009
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,114,299	△238,186
法人税等	242,224	△196,213
少数株主利益	290,608	53,569
四半期純利益又は四半期純損失(△)	581,467	△95,541

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,114,299	△238,186
減価償却費	1,772,181	1,487,930
のれん償却額	22,969	20,596
負ののれん償却額	△14,842	△28,866
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△87,702	33,276
賞与引当金の増減額(△は減少)	△132,768	△87,451
退職給付引当金の増減額(△は減少)	252,969	217,272
製品保証引当金の増減額(△は減少)	33,684	△10,148
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△61,400	2,400
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	81,142
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	—	79,253
受取利息及び受取配当金	△22,078	△13,547
支払利息	165,032	161,431
為替差損益(△は益)	15,660	77,288
持分法による投資損益(△は益)	—	3,041
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,482
有形固定資産除売却損益(△は益)	12,413	974
無形固定資産除売却損益(△は益)	—	55
売上債権の増減額(△は増加)	1,195,301	△1,089,895
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,197,225	△1,158,531
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,044,904	1,512,377
その他	△446,732	194,370
小計	1,576,856	1,246,269
利息及び配当金の受取額	23,231	9,773
利息の支払額	△175,139	△167,542
法人税等の支払額	△862,829	—
法人税等の還付額	—	27,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	562,119	1,116,287
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,208,449	△1,045,275
定期預金の払戻による収入	1,674,320	805,195
有形固定資産の取得による支出	△2,534,383	△1,716,282
有形固定資産の売却による収入	134,834	36,459
無形固定資産の取得による支出	△44,057	△59,029
投資有価証券の取得による支出	△392	△109,641
投資有価証券の償還による収入	29,706	1,272
子会社株式の取得による支出	△502,391	—
貸付けによる支出	△15,388	△255,804
貸付金の回収による収入	19,932	5,432
その他	50,487	11,018
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,395,782	△2,326,655

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,378,674	5,324,336
短期借入金の返済による支出	△3,777,223	△5,071,122
長期借入れによる収入	2,493,026	1,902,165
長期借入金の返済による支出	△1,963,669	△2,149,162
セール・アンド・リースバックによる収入	—	403,296
リース債務の返済による支出	△109,241	△311,173
社債の発行による収入	—	300,000
社債の償還による支出	△900,000	—
配当金の支払額	△181,582	△142,127
少数株主への配当金の支払額	△80,019	△24,549
自己株式の取得による支出	△125	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	859,838	231,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	△82,731	38,690
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,056,555	△940,046
現金及び現金同等物の期首残高	3,332,081	3,630,417
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△244,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,275,526	2,446,295

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社グループは自動車部品のメーカーとして、同一セグメントに属するウォーターポンプ及びユニバーサルジョイント等の製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,512,675	1,771,736	16,702,035	28,986,448	-	28,986,448
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,079,348	16,094	4,899,526	6,994,968	(6,994,968)	-
計	12,592,023	1,787,831	21,601,561	35,981,416	(6,994,968)	28,986,448
営業利益 (または営業損失 (△))	757,015	△137,064	364,074	984,024	32,330	1,016,354

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,658,438	2,260,160	10,701,762	19,620,361	-	19,620,361
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,894,491	7,157	4,114,443	7,016,093	(7,016,093)	-
計	9,552,930	2,267,318	14,816,205	26,636,454	(7,016,093)	19,620,361
営業利益 (または営業損失 (△))	△79,429	△48,088	362,204	234,686	(123,893)	110,792

(注) 1. 国又は地域は、地理的の近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・韓国、中国、タイ

(2) 北米・・・アメリカ

3. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第3四半期連結累計期間の日本の営業利益が27,826千円減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第3四半期連結累計期間のアジアの営業利益が2,752千円減少しております。

4. 追加情報

前第3四半期連結累計期間

(有形固定資産の耐用年数の変更)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、当社の機械装置については、従来、耐用年数を2～12年としておりましたが、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より2～9年に変更しました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第3四半期連結累計期間の日本の営業利益が44,766千円減少しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	16,474,376	2,891,965	4,436,621	23,802,962
II 連結売上高 (千円)	-	-	-	28,986,448
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	56.8	10.0	15.3	82.1

当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	11,142,683	3,063,124	2,854,228	17,060,035
II 連結売上高 (千円)	-	-	-	19,620,361
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	56.8	15.6	14.6	87.0

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しています。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・韓国、中国、タイ等

(2) 北米・・・アメリカ、カナダ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。